



胆振地方消防訓練大会 小型ポンプ操法 安平消防団準優勝



 6月定例会
 副町長に田中一省氏の選任を同意 ほか
 6月定例会 一般質問 (12件)
 7名の議員が町政を問う!
 4月臨時会
 新教育長に井内聖氏の任命を同意 ほか



6月19日から20日までの2日間にわたり開催した第5回 定例会では、令和5年度の一般会計繰越明許費繰越計算書 と一般会計事故繰越計算書の報告に続き7名の議員から一 般質問を行い、任期満3に伴う人権擁護委員の推薦につい ての諮問と安平町副町長の選任同意の後、安平町給食セン ター条例の一部を改正する条例の制定及び安平町合宿所条 例の一部を改正する条例の制定についての条例改正2件を 審議し、一般会計を含む全5会計の補正予算と意見書案5 件と議員派遣の件について審議し閉会しました。

「一 千日の 再作の	ここ (一日で糸い走したこ	
毛の再壬の	」 りを 解 り 或 し を 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	
6月30日で任期満了とな	2件で、翌年度に合計39万	ステム構築事業
意について【再任】	ス多機能電話機購入事業の	・社会保障・税番号制度シ
◎安平町副町長の選任の同	なったことによるコードレ	742万9千円
	じ納入期限に間に合わなく	業
	製造部品の調達に遅延が生	・戸籍情報システム改修事
	能登半島地震の影響により	148万9千円
t t t t t t t t t t t t t t t t t t t	告知ネットワーク事業と、	·訟務経費
	なったことによる防災行政	○事業名と翌年度繰越額
	長され工期が間に合わなく	
	電力設備の切替え処理が延	た。
	は、北海道電力柱における	たことの報告がなされまし
	事故繰り越しを行う事業	ついて、翌年度に繰り越し
適任と決定しました。	報告がなされました。	が困難である7件の事業に
にあたり意見を求められ、	かった2件の事業について	令和5年度内の事業完了
る須貝英子氏の再任の推薦	い事故のため終えられな	報告について
9月30日で任期満了とな	令和5年度内に避けがた	計繰越明許費繰越計算書の
いて【再任】	ついて	◎令和5年度安平町一般会
◎人権擁護委員の推薦につ	計事故繰越計算書の報告に	
人事案件	◎令和5年度安平町一般会	
	1億3208万4千円	
	事業	審議し を 案件
17万2700円	・追分小学校空調設備整備	
購入事業	3000万円	
・コードレス多機能電話機	援事業	6
22万円	・担い手確保・経営強化支	月
ク事業	584万5千円	19
・防災行政告知ネットワー	税補足給付金事業	
○事業名と翌年度繰越額	・低所得者支援及び定額減	~2
	2000万円	20
との報告がなされました。	・土地分筆業務委託	Ħ

令和6年

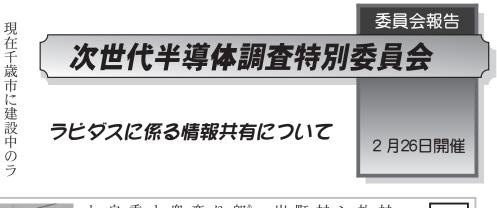
第5回

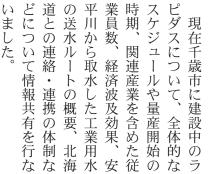
を行うもので、原案のとお		○衛生費	○繰越金	◇介護保険事業特別会計補
り同意可決しました。	<ul><li>補 正 子 貨</li></ul>	・脱炭素化事業	・前年度繰越金	正予算(第2号)
	▼一般会計補正予算	330万7千円増	4594万1千円増	・保険事業勘定
	(第2号)	・保健センター管理経費	○諸収入	令和5年度決算による繰
うして	歳入では令和5年度一般	126万5千円増	・地域公共交通確保維持改	越金及び第1号被保険者介
	会計決算による繰越金の増	○農林水産業費	善事業費補助金	護保険料滞納繰越分の整理
<i>p</i>	額等と、歳出は所得税及び	・生産振興対策事業経費	308万3千円増	が主なもので、歳入歳出そ
	住民税の定額減税において、	275万5千円増	○町債	れぞれ1億8534万1千
	減税しきれない方に対し差	○商工費	・合併特例債	円を追加し、予算の総額を
	額分を給付する定額減税補	・商工振興事業経費	690万円減	10億9830万4千円とす
2	足給付金事業の追加等によ	600万円増	・道路橋りょう債	るもの。
条何の一部改正	るもので、歳入歳出それぞ	○教育費	1660万円増	・介護サービス事業勘定
2件の条例の一部改正に	れ8586万8千円を追加	・スクールバス運行管理経費		サービス収入の自己負担
ついて審議を行い、それぞ	し、予算の総額を96億80	167万3千円増	◇国民健康保険事業特別会	金及び令和5年度決算に伴
れ原案のとおり可決しまし	10万3千円とするもの。		計補正予算(第1号)	う歳計剰余金の整理で、歳
た。		歳入の主なもの	令和5年度決算により剰	入歳出それぞれ251万7
	歳出の主なもの	(100万円以上)	余金が生じたことによる繰	千円を追加し、予算の総額
▼安平町学校給食センター	(100万円以上)	○国庫支出金	越整理が主なもので、歳入	を874万3千円とするも
条例の一部を改正する条例	○総務費	・地域公共交通確保維持改	歳出それぞれ1026万6	0°
の制定について	<ul> <li>町有施設管理経費</li> </ul>	善事業費補助金	千円を追加し、予算の総額	
安平町連合PTAの解散	775万6千円増	308万3千円減	を8億8496万7千円と	◇下水道事業会計補正予算
に伴い、条例で定める運営	・地区別計画協働づくり事業	・重点支援地方交付金	するもの。	(第1号)
委員会の構成を改めるもの。	503万2千円減	5810万9千円増		人事異動等に伴う職員人
	○民生費	○道支出金	◇後期高齢者医療事業特別	件費を増額するため、収益
▼安平町合宿所条例の一部	・低所得者世帯臨時特別給	・みどりの食料システム戦	会計補正予算(第1号)	的収入に69万円を追加し収
を改正する条例の制定につ	付金支給事業	略推進交付金	令和5年度決算により剰	益的収入の総額を6億71
いて	826万8千円増	275万4千円増	余金が生じたことによる繰	94万4千円に、収益的支
平成30年胆振東部地震に	・定額減税補足給付金事業	○繰入金	越整理が主なもので、歳入	出に69万円を追加し収益的
より損壊した安平町しらか	4949万2千円増	<ul> <li>財政調整基金繰入金</li> </ul>	歳出それぞれ155万6千	支出の総額を6億4360
ば合宿所は、危険度が高い	・ぬくもりセンター施設管	3685万6千円減	円を追加し、予算の総額を	千円とするもの。
ため今年度解体工事を行い	理経費	・産業づくり基金繰入金	1億7332万6千円とす	
廃止するもの。	336万1千円増	600万円増	るもの。	

<sup>3</sup> ③ 道 教 定 版 ) て て 教 委 「 て 、 教 委 「 て 、 教 委 「 て 、 教 委 「 こ 、 教 委 「 こ 、 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の	議員名     賛否       工藤秀一     ×       米川恵美子     ○       小笠原直治     ○       鳥越真由美     ×       田村興文     欠席	②次期 定の撤 開 説 し 立 採 決	議員名     賛否       工藤秀一     ×       米川恵美子     〇       小笠原直治     〇       鳥越真由美     ×       田村興文     欠席	<ol> <li>(1) との</li> <li>(1) との</li> <li>(立 お 意 議 〕</li> <li>(1) との</li> <li>(1) との&lt;</li></ol>
これからの高校 して、 して、 して、 たかな学びを での の して、 の での の る た が よ の の の で の で の の	□ 工 藤 隆 集 男 欠 席 三 浦 崎 英 子 ・ × 内 藤 美 子 ・ × へ 席 し 、 次 席 し 、 次 席 し 、 次 席 し 、 次 席 し 、 次 席 し 、 次 席 し 、 次 席 し 、 次 席 し 、 、 、 の 、 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 の の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の の 、 、 の の 、 、 の の 、 の の 、 の の の の の の の の の の の の の	・原案可決】	□ 一 一 一 一 一 藤 隆 男 欠 席 三 浦 崎 英 手 子 〇 〇 箱 崎 英 手 子 〇 〇 箱 崎 英 手 子 〇 〇 〇 箱 崎 英 寺 子 〇 〇 〇 箱 崎 英 寺 子 〇 〇 〇 箱 崎 英 寺 子 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	・ 原 案 可 決 し ま し ま し ま し ま し た た 5 件 ・ の の 本 新 茶 の の の 本 の た 5 件 ・ の の の で い た ち の 件 ・ の の の の で い た の の の い て は 、 次 の の の い て は 、 次 の の い て は こ れ た の の い て は 、 次 の の い て は 、 次 の の い て は 、 、 次 の の い て は た 、 の の の の い て は 、 次 の の の い て は た 、 の の の の た の の 作 一 の の の た の の の の の た の の の の の た の の の の の た の の の の の た の の の の の の の の の の の の の

境大臣、 知事、 臣 大臣、 により、 台南市安平区長からの書簡 年記念行事の参加について、 男女共同参画担当)、総務大 長 町議会議長名で、 産大臣、経済産業大臣、環 臣、デジタル大臣、農林水 文部科学大臣、国土交通大 財務大臣、厚生労働大臣、 化対策担当、若者活躍担当 臣(こども政策担当、少子 5 ④地方財政の充実・強化に 育長に提出しました。 (原案可決) 【原案可決】 化を求める意見書 実現に資する森林・林業・ 関する意見書 可 木材産業施策の充実・強 台湾台南市建都400周 議 ゼロカーボン北海道の 外務大臣、防衛大臣、 参議院議長、 決された意見書は安平 北海道教育委員会教 内閣府特命各担当大 員 議員3名を台湾へ 復興大臣、北海道 ற 派 内閣総理 衆議院議 遣

 目 た。 派遣することに決定しまし ④派遣議員 ③派遣期間 ②派遣場所 **多**田 箱崎 促進のため。 令和6年8月8日(木) 台湾台南市ほか 相互訪問による友好交流 鳥越真由美 の友好交流協定に基づく ~ 令和6年8月11日(日) 安平町と台南市安平区 政拓 英輔 .... 議員 議員 議長





	した 講演を 拝聴しました。	研 修 報 告
研修に参加した議員	。題てのに元候よ森。 が平町ョれ町	

A	置等に係る固定資産税の負	・地域おこし協力隊活用事	・しょうがい者自立支援事	・体育施設管理経費
	担軽減措置を図るもの。	業	業経費	877万3千円減
B		103万4千円減	717万2千円減	・スキー場運営経費
2117	▼安平町国民健康保険税条	・まちづくりファンド基金	・認定こども園等運営経費	157万5千円減
4月30日に臨時会を開催。	例の一部を改正する条例の	積立金	190万5千円減	○災害復旧費
専決処分事項の承認6件と	制定について	213万8千円増	○衛生費	・河川災害復旧事業
人事案件2件、条例の一部	令和6年3月31日の地方	・定住促進事業	・母子保健事業	242万円減
改正5件と各会計補正予算	税法施行令の一部改正によ	630万1千円減	119万2千円減	○給与費
3件を審議しました。	り、後期高齢者支援金等課	・地区別計画協働づくり事	・環境衛生事業経費	・職員等人件費
	税額の賦課限度額を22万円	業	289万8千円減	781万5千円減
	から24万円に引き上げるも	121万6千円減	○農林水産業費	
専 ジ 処 ケ 事 項 の 承 話	0°	・まちづくり基金積立金	・農業振興資金貸付事業経	歳入の主なもの
▼安平町税条例等の一部を		1958万7千円増	費	(100万円以上)
改正する条例の制定につい	▼令和5年度安平町一般会	・産業づくり基金積立金	1000万円減	○町税
て(令和6年2月21日専決	計補正予算(第11号)につ	576万1千円増	○土木費	・町民税
処分)	いて	・ひとづくり基金積立金	・道路施設等維持管理経費	(個人・現年課税分)
令和6年2月21日に公布	補正第10号以降に予算額	810万9千円増	119万2千円減	412万2千円増
された地方税法の一部改正	に変動があったものについ	・過年度還付金等経費	·除雪対策経費	・町民税
により、町民税に係る能登	て整理して専決処分したも	175万2千円減	666万2千円減	(個人・滞納繰越分)
半島地震災害による被災者	ので、歳入歳出それぞれ5	・知事・道議会議員選挙経	○教育費	190万1千円減
の負担軽減を図ることに対	968万8千円を減額し、	費	<ul> <li>就学援助経費</li> </ul>	・町民税
応するもの。	予算の総額を86億3250	126万9千円減	274万円減	(法人・現年課税分)
	万9千円とするもの。	○民生費	· 教育魅力化推進事業	7507万4千円減
▼安平町税条例等の一部を		・低所得者世帯臨時特別給	145万3千円減	・固定資産税(現年課税分)
改正する条例の制定につい	歳出の主なもの	付金支給事業	・スクールバス運行管理経	1236万円増
て(令和6年3月30日専決	(100万円以上)	392万円減	費	・固定資産税(滞納繰越分)
処分)	○総務費	<ul> <li>介護保険事業特別会計繰</li> </ul>	570万7千円減	178万4千円増
令和6年3月30日に公布	・総合行政ネットワークシ	出金	<ul> <li>義務教育学校教育振興経</li> </ul>	・軽自動車税(現年課税分)
された地方税法の一部改正	ステム運用事業	109万2千円減	費	122万7千円増
により、定額減税(1人に	478万1千円減	・介護人材確保・育成対策	103万3千円減	・町たばこ税(現年課税分)
つき1万円)を実施する町	<ul> <li>町有施設管理経費</li> </ul>	事業	・公民館施設管理経費	361万1千円増
民税及び土地の負担調整措	128万7千円減	189万4千円減	708万1千円減	